

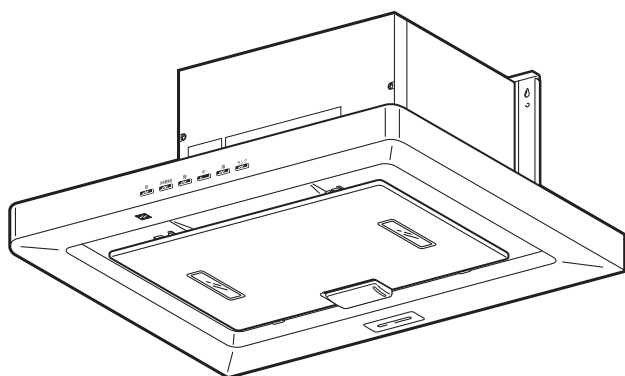
フラット形 レンジフードファン

形名

V-754FR₂ ・ V-904FR₂

取扱説明書

お客様用



もくじ

ページ

安全のために必ず守ること…	2
使用上のお願い…	3
各部のなまえ…	4
使用前の確認…	4
使いかた…	5
お手入れ…	6～7
修理を依頼する前に…	8
アフターサービス…	8
仕様…	8

●お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。








●添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに大切に保管してください。






この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

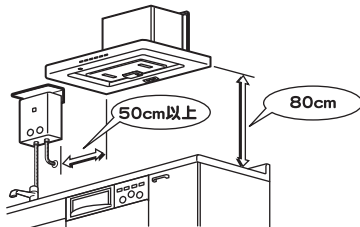
 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 禁止	ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしない 爆発や引火のおそれがあります。 窓を開けて換気してください	 指示に従う	交流 100V を使用する 直流や交流 200V を使用すると火災・感電の原因になります。
 水かけ禁止	製品に水をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります。		電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく 火災の原因になります。
 分解禁止	改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	ランプを交換するときやお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカを切る 通電状態では感電やけがをすることがあります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因になります。		

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがをすることがあります。	 プラグを抜く	長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。
	フードの上面に調味料などの物を置かない 落下によりけがをすることがあります。	 指示に従う	お手入れの際は厚手の手袋を着用する 着用しないと金属などの端面でけがをすることがあります。
 接触禁止	運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがのおそれがあります。		お手入れ後の部品の取り付けは確実に行う 落下によりけがをすることがあります。
			電源プラグを抜くときには電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火することがあります。
			指定のランプを使用する 間違ったランプを使用するとランプ周辺が高温になり、やけどをすることがあります。

使用上のお願い

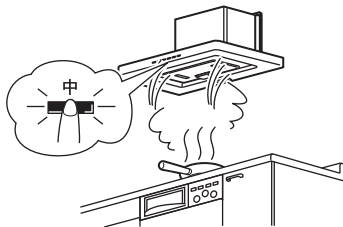
室内周囲温度は40℃以下で使用する
また、下図の寸法になっているか確認する

- 本体の下端からガスレンジまたは、IHクッキングヒータまでは80cm以上必要です。所定の寸法が確保されていない場合は販売店にご相談ください。



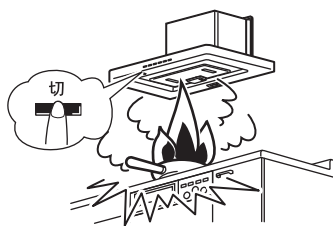
(モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因になります)

ガスレンジを使用するときは、必ずレンジフードファンを運転する



(レンジフードファンを運転しないと、本体内の温度が高くなり故障の原因になります)

料理中、誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、ふたをするなどして火を消す。同時にレンジフードファンの運転を停止する



(レンジフードファンを運転していると火の勢いがさらに強くなります)

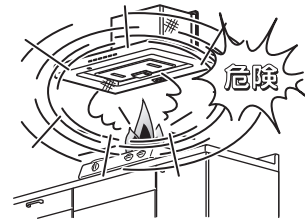
建物全体の換気には他の換気扇を併用する

- レンジフードファンは局所換気用です。
- 調理などの局所換気時の風量切換(中・強ノッチ運転)により、建物の換気バランスが悪くなります。

風の影響を受けやすいため、近くの窓を閉めて使用する

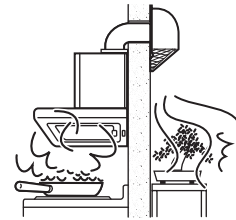
(油煙等の捕集効果がよくなります)

ガスレンジを空だき状態で長時間使用しない



(故障の原因になります)

屋外排気口下側には油煙がかかる場合があるので、物を置かない



(植木が枯れたり、物が汚れる原因になります)

製品に酸・アルカリ・有機溶剤などの薬品がかからないか確認する



(サビ発生の原因になります)

レンジフードファンを運転中は給気を行ってください

- レンジフードファンの反対側の壁に空気取入口を設けるか、部屋の扉(窓)を少しあけてください
密閉された建物では、汚れた空気を排出するためには新鮮な空気の入るところ(空気取入口)が必要です



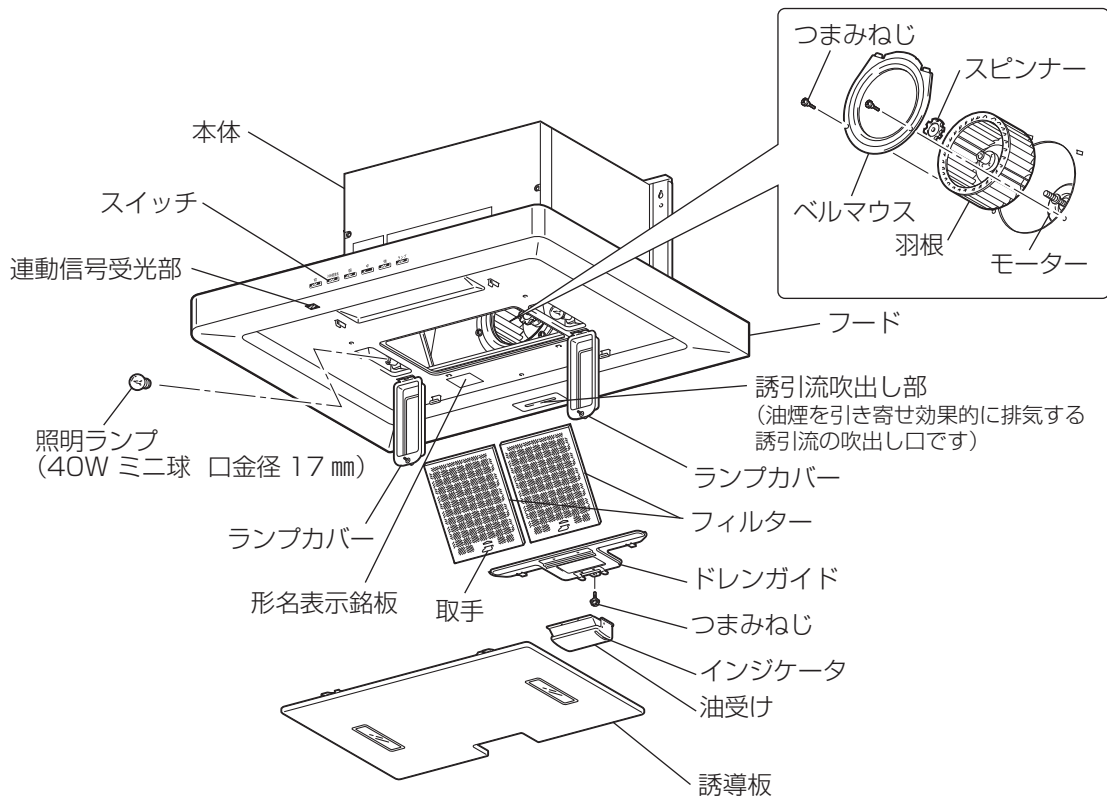
フィルターの間または表面に市販の繊維フィルター等を取付けない

(火災予防条例上使用が制限されたり、風量低下の原因になります)

IHクッキングヒータ(電気コンロ)等を使用して、室温が低い時に(約10℃以下)、蒸気が多量に出る調理をされますと、製品表面に結露(水滴)が生じる場合があります。

その際は、ご面倒ですが滴下する前に乾いた布等にて拭き取ってご使用ください。

各部のなまえ



使用前の確認

■誘導板が正しくセットされていることを確認してください。

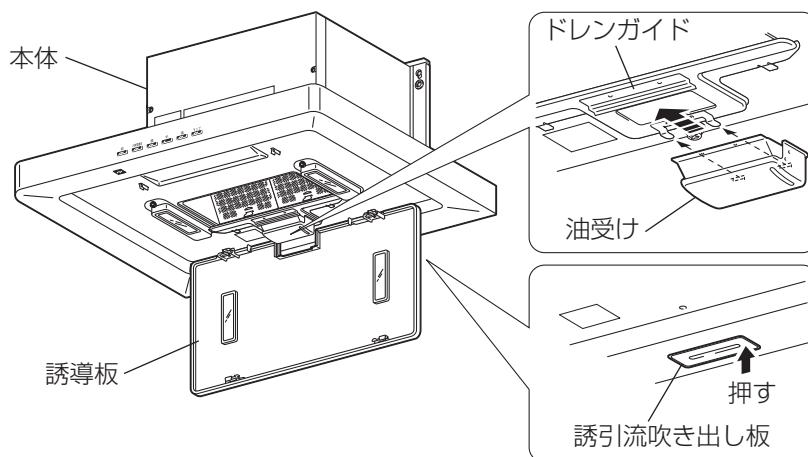
誘導板が付いていないと吸い込み性能が著しく低下します。また正しくセットされていないと落下することがあります。

誘導板の両側を持って軽く下げた時に落ちないことを確認する。

■油受けが正しくセットされていることを確認してください。

正しくセットされていないと落下することがあります。

油受けをドレンガイドに沿って手前へスライドしてカチンとした感触があるところまではまっていることを確認する。



■誘引流吹き出し板が正しくセットされていることを確認してください。

正しくセットされていないと捕集効率が低下するだけでなく、ガスコンロをご使用の場合に燃焼を妨げる場合があります。

誘引流吹き出し板を押してカチッと止まって固定されていることを確認する。

使いかた

24時間換気で使用する場合

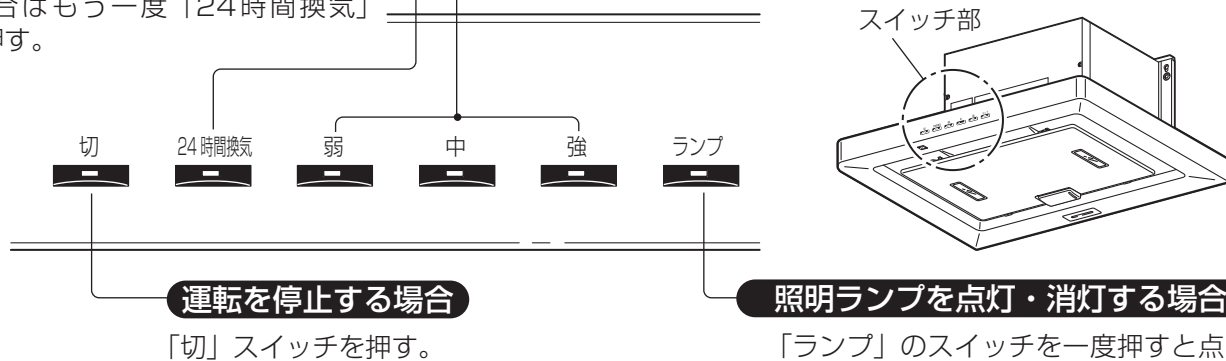
「24時間換気」スイッチを押す。表示ランプが点灯して24時間換気モードであることをあらわします。24時間換気モードでは、「切」スイッチを押すとレンジフードファンは弱運転と同量の風量で運転し続け、誘引流は停止します。解除する場合はもう一度「24時間換気」スイッチを押す。

調理をする場合

風量スイッチの「強」・「中」・「弱」のいずれかのスイッチを押す。押したスイッチのランプが点灯し運転状態を表示します。

風量の目安として……

「強」 ……油煙が多く出るものを調理するとき
「中」・「弱」 ……油煙が少ない場合や調理後の脱臭をするとき



お知らせ ●本レンジフードファンは、外風や室内圧の影響により、シャッターの閉止音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

お願い ●IHクッキングヒータをご使用の場合、室温が低い時に（約10℃以下）、製品表面に結露が発生する場合があります。その場合は、滴下する前に拭き取ってご使用ください。

レンジフード連動機能付の加熱器（IHクッキングヒータ、またはガスコンロ）と組み合わせて使用する場合

連動運転の設定を行うことにより下記のように加熱器と連動して運転することができます。

加熱器を着火すると、自動的にレンジフードが「中」で運転を開始します。

加熱器を消火すると、自動的にレンジフードが運転を停止します。

加熱器の操作パネルで風量調節および照明ランプの点灯・消灯ができます。

メモ ●加熱器の操作方法は加熱器の取扱説明書をご覧ください。
●連動機能付の機種でも信号が対応していない場合や発信する信号をうまく受光できない場合があります。
●加熱器の信号の発信部が汚れていたり、鍋等でふさがれていると連動できません。
●電子点灯式の蛍光灯（インバータ蛍光灯など）の近くや、直接日光などの強い光が当たる場所では、連動運転ができなくなる場合があります。

連動運転の設定をする場合

- 連動運転を行うには以下の手順で連動運転の設定を実施してください。
- 連動設定状態への移行は、電源投入後、ファン（強・中・弱）を運転させる動作を行う前に実施してください。ファン運転操作を実施した場合は、ブレーカを切るか、プラグを抜いてから再度電源を投入して実施してください。
- 加熱器の電源を投入して実施してください。
 1. スwitchの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押す。
「ピッ」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て点滅する。
点灯の場合は「弱」、「中」、「強」のスイッチを同時に2秒間押す。
「ピッ」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て点滅します。
 2. 加熱器側で換気扇の操作スイッチを押す。
信号を正常に受信すると「ピー」とブザーが鳴り、表示ランプが消灯して設定が完了します。

連動運転の再設定、取り消しをする場合

- 連動設定状態への移行は、電源投入後、ファン（強・中・弱）を運転させる動作を行う前に実施してください。ファン運転操作を実施した場合は、ブレーカを切るか、プラグを抜いてから再度電源を投入して実施してください。
 1. 設定内容を消去するため、スイッチの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押して連動設定状態へ移行した後、表示ランプが全て点灯している状態で、「弱」、「中」、「強」のスイッチを同時に2秒間押す。
「ピッ」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て点滅します。
 2. 連動運転の再設定をする場合は、加熱器側で換気扇の操作スイッチを押す。
信号を正常に受信すると「ピー」とブザーが鳴り、表示ランプが消灯して設定が完了します。
 3. 連動運転を取り消す場合は、スイッチの表示ランプが全て点滅している状態で、スイッチの「切」と「ランプ」を同時に2秒間押す。「ピー」とブザーが鳴り、スイッチの表示ランプが全て消灯します。

お手入れ

レンジフードファンが汚れてきたら、下記の方法でお手入れしてください。

本説明書以外の清掃方法については販売店にご相談ください。

警告

お手入れの際は、加熱器も電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切る連動運転で使用している場合モータが動きだしけがをすることがあります。

お手入れの際は、分電盤のブレーカを切る感電やけがをすることがあります。

工具を必要とする部品の取りはずし、清掃は行わない

工具を必要とする部品例：モータ、その他電気部品

火災・感電・けがの原因になります。

注意

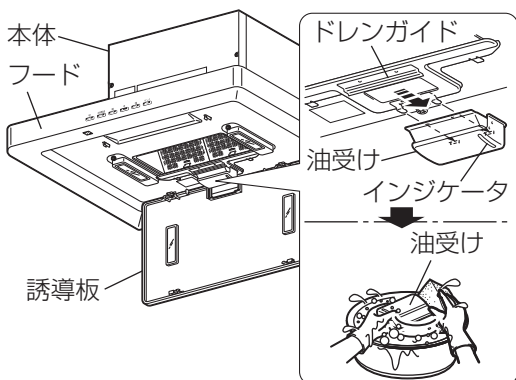
お手入れの際は厚手の手袋を着用する

金属等の端面でけがをすることがあります。

お願い

- 作業前に操作スイッチの表示ランプがすべて消灯していることを確認してください。
- 照明ランプ点灯中や消灯直後は清掃しない。(ランプ周辺が高温になり、やけどをすることがあります)
- 部品の取りはずしは慎重におこなう。(落下により加熱器などをこわすおそれがあります)
- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。(洗剤は原液のまま使用しないでください)
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(変質したり、塗装がはがれる原因になります)
- 油受けはフィルターで回収した油を回収するものです。(フード、誘導板の油を回収するものではありません) 各部品を下記の方法で清掃してください。

◎ふだんのお手入れ



フード、誘導板(本体外装)の清掃 汚れた場合適宜

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でからぶきする。

油受けの清掃 こぼれる前に捨てる。1か月に1度以上

1. 油受けをゆっくり後方へスライドして取りはずす。
2. 油受けにたまった油を台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)で洗い、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かす。

お願い

- インジケータで油の量を確認し、こぼれる前に捨ててください。

フィルターの清掃 1か月に1度以上

1. 誘導板左右の固定金具をつまんで誘導板を開く。
2. フィルター(2組)を取りはずし2枚に分ける。
3. 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かす。

お願い

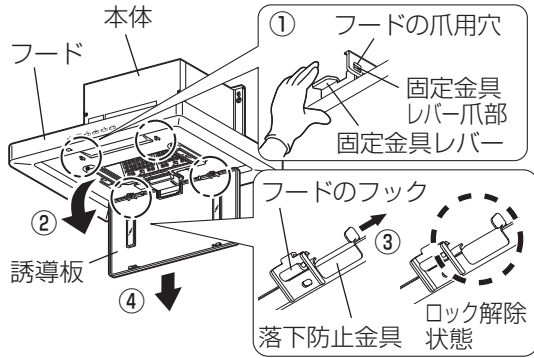
- フィルターは変形しやすいものです。取扱いには十分注意してください。
- 金属タワシは使用しないでください。(塗装がはがれる原因になります)

お手入れ後の部品の取り付け

取りはずしと逆の手順で各部品を取り付ける。

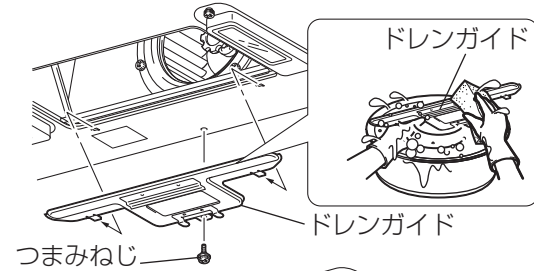
◎念入りなお手入れ（調理頻度により実施。6か月に1度以上）

誘導板の清掃



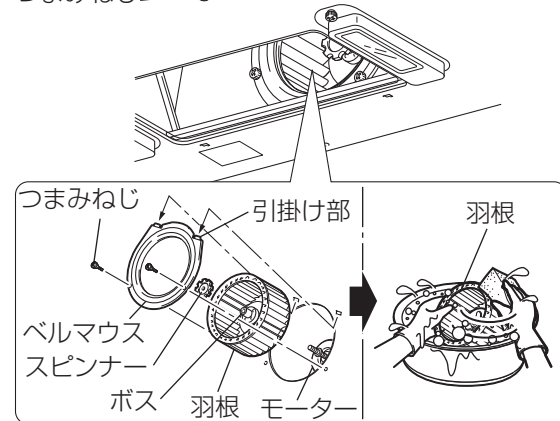
1. 誘導板を開く。
● 誘導板の固定金具レバー（左右2か所）を①つまんで固定金具レバー爪部をフードの爪用穴からはずし、②下方へおろします。
2. 誘導板を取りはずす。
● 誘導板奥側の落下防止金具（左右2か所）を③スライドしてロックを解除し、④誘導板を持ち上げながら手前に引いてフードのフックから取りはずします。
3. 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でからぶきする。

ドレンガイドの清掃



1. つまみねじをはずす。
2. ドレンガイドを手前に引いて引掛け部をはずして取る。
3. 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かす。

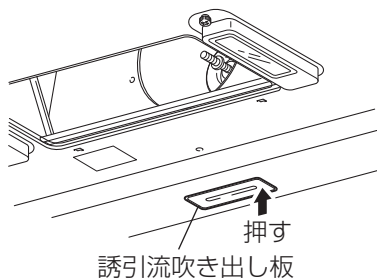
羽根の清掃



1. ベルマウスのつまみねじをはずす。
2. ベルマウスを下ろして引掛け部をはずして取る。
3. 羽根を押さえながらスピナーを右へ回してゆるめ、ボス（羽根の中央部）を持ち羽根をはずす。
4. 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かす。

お願い ● 羽根の取扱いには十分注意してください。変形すると異常音発生の原因となります。

誘引流吹き出し板の清掃



誘引流吹き出し板の右端を押して開き、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布でフィルター部分のホコリなどを取り除き、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布でよくふき取る。（取りはずすことはできません）

お手入れ後の部品の取り付け

取りはずすと逆の手順で各部品を取り付ける。

お願い ● 羽根はモータのピンに当たるまで押し込み、スピナーを締め付ける。ゆるむと異常音や部品破損の原因になります。

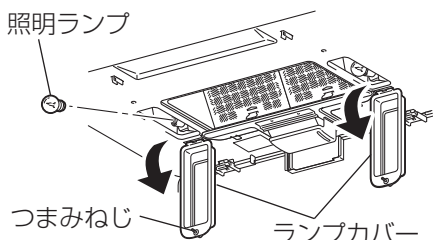
◎照明ランプの交換

⚠ 警告

ランプを交換するときは、分電盤のブレーカを切る（感電することがあります）

⚠ 注意

指定のランプを使用する（ランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります）



- 1 ランプカバーのつまみねじをゆるめ、ランプカバーを開ける。
- 2 照明ランプを取り出し、市販の照明ランプ（小形白熱電球 100V、40W、口金径 17mm）をお求めのうえ交換する。

お願い ● 照明ランプ消灯直後は交換しない。（ランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります）

修理を依頼する前に

長い間ご使用のレンジフードファンは、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。

6か月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。点検・修理を依頼する場合は、事故防止のため分電盤のブレーカを切って、お買上げの販売店に連絡してください。

こんなとき	原因	対策
スイッチを入れても羽根が回転しない 表示ランプが点灯しない	分電盤のブレーカが切れていませんか？	「入」にします
	プラグがコンセントに接続されていますか？	プラグを差し込みます
	上記を処置しても回らない場合	販売店へ連絡します
運転中に異常音や振動がある	本体が確実に取付けられていますか？	販売店へ連絡します
	羽根、スピナー、誘導板、フィルター、油受けが確実に取付けられていますか？	取付け直します
	フィルター、羽根に異物が付着していませんか？	清掃します
	上記を処置しても直らない場合	販売店へ連絡します
照明ランプを「入」にしても点灯しない	照明ランプが切れていませんか？	照明ランプを交換します
	上記を処置しても直らない場合	販売店へ連絡します
羽根の回転が止まらない	24時間換気モードになっていませんか？	24時間モードでは弱運転と同様の風量で運転し続けます
	上記以外の場合	販売店へ連絡します
羽根の回転が遅い または不規則	弱または24時間換気で使用しているときに回転が遅い場合	正常です
	上記以外の場合	販売店へ連絡します
誘引流が出ない	誘引流フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを清掃します
	上記を処置しても直らない場合	販売店へ連絡します
加熱器と連動運転しない (連動機能付の加熱器を使用する場合)	連動運転の設定は完了していますか？	連動運転の設定を行います
	加熱器の信号発信部が汚れていたり、鍋等でふさがれていませんか？	信号発信部の障害物を取り除きます
	加熱器の送信部に強い光り(直射日光など)があたっていませんか？	光があたらないようにします
	加熱器が故障していませんか？	加熱器の販売店へ連絡します
	上記を処置しても直らない場合	販売店へ連絡します
こげ臭いにおいがする	故障です運転停止してください	販売店へ連絡します

アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(別紙)にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「修理を依頼する前に」にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、分電盤のブレーカを切り、お買上げの販売店にご連絡ください。

●修理料金は

- 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容


1. 品名 レンジフードファン
2. 形名 V-000
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

仕様

※特性はJIS C 9603に基づく

定格電圧(V)	ノッチ	定格電流(A)		定格消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
100	強	1.01	1.15	98	110	525	490	46	45	V-754FR ₂ : 28 V-904FR ₂ : 30
	中	0.62	0.65	62	65	320	300	36	35	
	弱	0.23	0.25	20	22	130	130	28.5	28.5	
	24時間換気	0.20	0.22	16.5	18.5	130	130	19	19	

愛情点検 	☆長年ご使用の換気扇の点検を!	使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。
	ご使用の際このようなことはありませんか。 ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 ※モータ、照明ランプはメンテナンスが必要な部品です。 ●こげ臭いにおいがする。	
お客様メモ サービスを依頼されるとき便利です。	形名 お買上げ年月日 年 月 日 お買上げ店名 (住所) (電話番号) () -	

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号